

プログラムに求められる要素	モデルカリキュラム対応箇所	対応する授業内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 社会でおきている変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データサイエンスとは(第1回)</li> <li>・データサイエンスが重要視される背景(第1回)</li> <li>・データを活用するデジタル技術(第1回)</li> <li>・ビッグデータ(第1回)</li> <li>・IoT(第1回)</li> <li>・社会で起きている変化(第2回)</li> <li>・「データサイエンスリテラシー」特別講義2 デジタルとビジネス(第7回)</li> </ul>
	1-6 データ・AI利用の最新動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIとAI利活用(第3～4回)</li> <li>・非構造化データへのAIの利活用(第4回)</li> <li>・最新のAI(第4回)</li> <li>・AI最新技術(第4回)</li> <li>・「データサイエンスリテラシー」特別講義1 データ・AIのビジネス利活用最前線(第5～6回)</li> </ul>
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 社会で活用されているデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの分類(第2回)</li> <li>・AIとAI利活用(第3～4回)</li> </ul>
	1-3 データ・AIの活用領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIとAI利活用(第3～4回)</li> <li>・「データサイエンスリテラシー」特別講義1 データ・AIのビジネス利活用最前線(第5～6回)</li> </ul>
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 データ・AI利用のための技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIの基礎となるデータ分析の考え方(第4回)</li> <li>・非構造化データへのAIの利活用(第4回)</li> </ul>
	1-5 データ・AI利活用の現場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIの基礎となるデータ分析の考え方(第3回)</li> <li>・「データサイエンスリテラシー」特別講義1 データ・AIのビジネス利活用最前線(第5～6回)</li> </ul>
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1 データ・AIを扱う上での留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ・AI利活用における留意事項(第12回)</li> <li>・AIに使われない社会のために(第14回)</li> </ul>
	3-2 データを守る上での留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ・AI利活用における留意事項(第13回)</li> </ul>
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1 データを読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIの基礎となるデータ分析の考え方(第4回)</li> <li>・データリテラシー1(データを読む1)(第8回)</li> </ul>
	2-2 データを説明する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データリテラシー2(データを読む2・データを説明する)(第9回)</li> </ul>
	2-3 データを扱う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データリテラシー3(データを扱う1)(第10回)</li> <li>・データリテラシー3(データを扱う2)(第11回)</li> </ul>